

| 項番 | 質問 | 回答 | 回答者 | 回答日 |
|----|---|---|--------|-----------|
| 22 | ここまで掘れてしまうと、CiNii Researchへ直接メタデータを登録できるようなシステムがあった方がよいような気がするが、そのようなシステムを開発する予定はあるか。 | 現状、予定はございません。検討するとしても、CiNii Research側に負荷がかららないように、慎重に進めたいと存じます。 | NII | 2024/3/29 |
| 23 | インセンティブ：研究者サイドにとって可視化されているかどうかは関係なく、OAにすることそのものが研究業績として評価（加算される）ことを意味していると思います。データ収集・可視化はもちろん必要ですが、文庫省・大学がそのデータをどう扱うかもセットで検討を進める必要があると思います。 | JPCOARでは研究データ作業部会、コンテンツ流通促進作業部会等において、さまざまな機関リポジトリ掲載コンテンツの取扱いについて検討しております。発言者の方、またご意見に賛同されるみなさまは、ぜひこれら作業部会に加わり、検討を進めてくださいませうお願いいたします。 | JPCOAR | 2024/3/18 |
| 24 | IdPホスティングサービスの実証実験は今年度末までだったと思いますが、今後新たに募集予定などはあるでしょうか。 | 学認対応IdPホスティングサービスの実証実験については、OA加速化事業の枠組みを活用し、追加募集を行うことを検討しています。 | NII | 2024/3/18 |
| 25 | 各機関は、公的資金の研究に結びついた論文を網羅的に把握する機能が重要かと思えます（OA化率等の把握のためにも）。KAKEN DB等に収録されている論文情報等を扱いやすいかたちでエキスポート等できる機能が必要かと思えます。API等で各大学の研究者情報DB等と連携、もしくはテキスト形式での一括保存機能等必要か。 | KAKENには検索結果画面からのCSV/XML出力機能や、API機能がございますので、ご利用ください。 https://support.nii.ac.jp/ia/kaken/project_list https://support.nii.ac.jp/ia/kaken/api/api_outline | NII | 2024/3/29 |
| 26 | OAがどれだけ進んでいるか可視化できるダッシュボード機能にいいね！です。 | ご意見ありがとうございます。 | NII | 2024/3/18 |
| 27 | ご説明をいただき、ありがとうございます。セルフアーカイブ機能と学認（RDMではなく、認証のほう）との連携に期待します。 | ご意見ありがとうございます。 | NII | 2024/3/18 |
| 28 | 各大学単位で把握しようとするのは無駄が多すぎるので→（OAがどれだけ進んでいるか可視化できるダッシュボード機能にいいね！です。） | ご意見ありがとうございます。 | NII | 2024/3/18 |
| 29 | 出版社がゴールドOA論文のデータをくれるということになったら、受け皿はどこになりますか？ CiNii Research？ | 仮にNIIにそのようなデータが来ましたら、CiNii Researchも候補となります。 | NII | 2024/3/29 |
| 30 | 研究者が直接、GakuninRDM等を経由してメタデータ登録出来るようになることよと思う | GakuNin RDMのメタデータ登録機能と、GakuNin RDMとJAIRO Cloudの連携機能（準備中）を組み合わせて、それが可能になります。 https://support.rdm.nii.ac.jp/usermanual/MetadataManagement-01/ | NII | 2024/3/18 |
| 31 | Jxivの投稿規定の変更が行われ、査読コメント等を反映している論文や公開・出版済み論文についても投稿できるようになります。2025OA義務化の際、機関リポジトリと重なる部分が出てきますが、このことについてNII様はどうお考えでしょうか。 | NIIとしては、著者自身の判断で使い分けることになるものと考えます。arXiv.org等との関係と同様です。（なおその際、著者はもちろん「出版社がJxiv掲載を許容しているか」「出版社が機関リポジトリ掲載を許容しているか」「大学が機関リポジトリへのセルフアーカイブを義務化しているか」などの外部要因を踏まえることとなります。） | NII | 2024/3/18 |
| 32 | WEKO3の典拠DBの改善 | 著者DB機能の問題については、大きな改善が必要と考えており、問題を整理中です。改善の方向性については、JPCOARの皆さまと共有し、進めていきたいと思えます。 | NII | 2024/3/29 |
| 33 | 研究データの登録が進めば、バージョン管理機能が重要になるかと。ZenodoのバージョンのDOI（Version DOI）とそのデータの全てのバージョンを示すDOI（Concept DOI）機能みたいなもの実装 | ZenodoはコンセプトDOIと各バージョンDOIの両方を登録していますが、JAIRO CloudではコンセプトDOIを採用しています。バージョンにDOIを付与するかどうかは、DOI登録に係るコストも踏まえて、慎重に判断したいと考えております。 | NII | 2024/3/29 |
| 34 | コンテンツデータは各大学が個別にクラウドストレージを契約するなどして、容量の増減やクラウドベンダーの選定、場合によってはオンプレストレージの利用等が出るよう、柔軟性を持たせるべきと思われる | 関連：項番10をご覧ください。 | NII | 2024/3/18 |
| 35 | 登録コンテンツの利用実態をより詳細に把握して集計する機能 | モニタリング機能について現在開発を進めておりますが、利用実態の把握のためにどのような機能を希望されているのかより詳細にご意見いただければ幸いです。 | NII | 2024/3/29 |
| 36 | 機関リポジトリからの研究データの公開も進めていきたいのでDataCite DOIの対応もお願いいたします。DOI付与に関しては、機関リポジトリ用で取得したものでなく、機関が所有するprefixを複数から指定できると良いです。 | JAIRO CloudのDataCite DOI対応が遅れており大変申し訳ございません。複数prefixによる登録もご要望をいただいたことがありますので、検討していきたいと思えます。 | NII | 2024/3/29 |
| 37 | OA加速化事業の支援対象は大学のみで、国立研究開発法人は対象外なのでしょうか（質問する相手が違うというすみません）。 | NIIでは公費の詳細は把握しておりません。OA加速化事業の実施主体である文部科学省にお問い合わせください。 | NII | 2024/3/18 |
| 38 | ご説明資料の「NII研究データクラウド」は以下サイトの「NII RDC」のことでしょうか？ https://rcos.nii.ac.jp/service/ 研究データ保管環境は、各大学がBoxなどで用意する認識でしたが、NIIで全大学さまの研究データを保管するクラウド環境を用意されるということですか？ | はい、「NII RDC」のことです。 「研究データ保管環境」がGakuNin RDMのストレージのことでしたら、NIIの用意したストレージの他、各機関で用意した「機関ストレージ」や「拡張ストレージ」を接続して利用することも可能です。 https://support.rdm.nii.ac.jp/usermanual/Glossary-01/ | NII | 2024/3/18 |
| 39 | JAIRO Cloudと研究データ管理システム（GakuNin RDM）とのシステム連携について「2024年度夏以降に一部の機関による先行利用を予定」とありますが、この先行利用を行う機関を公募する予定などありますか？ | GakuNin RDMとJAIRO Cloud連携機能の先行利用については企画中ですが、公募を含めて検討いたします。詳細についてはNII学術情報基盤オープンフォーラム2024でお知らせします。 | NII | 2024/3/18 |
| 40 | JAIRO Cloudと研究データ管理システム（GakuNin RDM）とのシステム連携の完了は、大体いつ頃を予定されておられますでしょうか？ | 関連：項番16-1をご覧ください。 | NII | 2024/3/18 |
| 41 | OA加速化事業の結果各機関により構築された機能について、良いものがあれば、JAIRO Cloudに取り入れていただける可能性はあるのでしょうか。 | はい、可能性はございます。 | NII | 2024/3/29 |
| 42 | 「機能連携」というワードばかりが出てきていますが、JAIRO Cloud本体への機能マージはないのでしょうか。 | JAIRO Cloud以外のリポジトリへの対応を勘案して、OAアシスト機能等はJAIRO Cloud本体との機能のマージをしておりません。 | NII | 2024/3/29 |
| 43 | (1)②の対象として、都道府県立(地独立)試験研究機関、博物館、水族館、病院等もございませう。ご配慮をいただければありがたいと存じます。 | ご意見ありがとうございます。 参考： (1)研究成果の公平な普及を支援する機能 (2)公平な普及を拡大する機能（学術機関以外の研究成果のための即時OA支援）学術機関リポジトリでは対象外となる研究成果の即時OA環境を整備することを目的とする。例えば、公的資金の受給者には、産業界等の研究者も含まれるが、大学等の機関リポジトリのような環境は整備されていない。研究成果の公平な普及を実現するため、産業界等の研究者に対しても即時OAの要件を満たす環境を整備する。 | NII | 2024/3/18 |
| 44 | JCでセルフアーカイブ機能の充実を予定されているとのことですが、大学側（JC利用機関）でもJCに登録する前までのセルフアーカイブ機能の開発を検討しています。NII様が補正予算での申請を予定されているのでしたら、大学から申請しても無駄になるかもしれませんので、開発を予定されている機能の詳細をお教えください。 | 関連：項番17をご覧ください。 | NII | 2024/3/18 |
| 45 | セルフアーカイブ機能はぜひお願いしたいです。研究者の方はResearchmapなどの情報から、簡単に登録したいと思うのですが、使いやすい入口があると良いと思います。 | ご意見ありがとうございます。 | NII | 2024/3/18 |
| 46 | Jxivの規約が変更されましたが、Jxivと機関リポジトリはどのように使い分けるべきでしょうか。 | 関連：項番31をご覧ください。 | NII | 2024/3/18 |
| 47 | スキーマバージョンの変更も予定されており、既存のデータのメンテナンスが発生しそうです。可能であれば、アイテムの一括ダウンロード機能あるいはサービスをご提供いただけると有難いです。 | 関連：項番8をご覧ください。 | NII | 2024/3/29 |
| 48 | 研究者が直接、GakuninRDM等を経由してメタデータ登録出来るようになることよと思うのですが、そういった機能の構築予定はありますか？ | 関連：項番30をご覧ください。 | NII | 2024/3/18 |
| 49 | ご説明のあった「NIIが加速化事業でやろうとしていること」を実現するために、予算的な規模感としてどのくらいを見込んでおられますか？ | 皆さまのご意見も加味して検討いたします。 | NII | 2024/3/18 |
| 50 | 実情として、NII様と各大学の動きは平行する形になるのはやむを得ないと思われませう。マージするなど全体としての動きとして、よりよいシステムの完成形を目指すことがよいのではないのでしょうか。その意味では、今後も意見交換の場は、時々持つことが必要ではないかと思われませう。 | ご意見ありがとうございます。NIIでは毎年開催しているNII学術情報基盤オープンフォーラム（2024年6月予定）、図書館総合展、NIIサービス説明会等で意見交換の場を持たせていただきたいと思います。 | NII | 2024/3/18 |
| 51 | 作業負担軽減のため、「メタデータ自動入力」の対象として、他の機関リポジトリ、(and/or)JaLC DOIからの自動入力機能の追加を希望します。 OA義務化の対象論文で、所属機関が異なる複数の著者がある場合 責任著者の機関でのみ対応、などのルールが別に定まるかもしれませうが (続き) | メタデータの自動入力機能の改善については、OAアシスト機能との連携も含めて検討していきたいと思えます。 仰る通り、共著論文の登録については、従来より定まったルールがないのが課題であると考えております。 | NII | 2024/3/18 |

| 項番 | 質問 | 回答 | 回答者 | 回答日 |
|----|---|---|--------|-----------|
| 52 | ・著者Aはxivで公開 ・著者Bは〇〇大学機関リポジトリで公開 ・著者Cは△△研究機構機関リポジトリで公開 のように同じ内容で3件データができる可能性があります。 | 関連： 項番51をご覧ください。 | NII | 2024/3/18 |
| 53 | GakuNinRDMについて、研究助成機関から研究データ管理の要件としてメタデータ項目が示されるケースもあるかと思いますが、研究助成別のメタデータ項目セットなどがデフォルトで搭載されると助かります。（利用機関がそれぞれ設定するのも無駄かなと思うので） | 現在のところ、GakuNin RDMのメタデータ登録機能については、公的研究助成機関の標準的な研究データ管理のためのメタデータとして、「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」の「メタデータの共通項目」のみに準拠しています。 https://www8.cao.go.jp/cstp/kenkyudx.html | NII | 2024/3/29 |
| 54 | 研究者自身によるセルフアーカイブは必須と考えますが、とにかくわかりやすい、使いやすい登録インタフェースにしてほしいです。 | ご意見ありがとうございます。良いインタフェースにしているために、ぜひ今後ともご提案ください。 | NII | 2024/3/18 |
| 55 | 以前のJAIRO Cloudコミュニティサイト掲示板のような、経験を蓄積できる場は再度提供されないのでしょうか。現状のメーリングリストでは有益な知見が探しくく、有志にてwikiを利用してまとめているところです。 | ご意見ありがとうございます。コミュニティの活性化に引き続き取り組んでまいります。JPCOARは、2024年度にJAIRO Cloud作業部会を設置しますので、発言者の方、またこのご意見に賛同されるみなさまは、ぜひ作業部会に加わり、コミュニティの活性化に取り組んでくださいますようお願いいたします。 | JPCOAR | 2024/3/18 |
| 56 | 機関ダッシュボードでモニタできる範囲は、どのくらいでしょうか。現行のCINii Researchの範囲から、さらに拡大することを想定しておられますでしょうか。 | モニタできる範囲は、CINii Researchに収録されているリソース（論文、プロジェクト等）となります。CINii Researchの収録リソースについては、「収録データベース一覧」（ https://support.nii.ac.jp/ja/cir/cir_db ）をご覧ください。今後はCINii Researchの収録データベースの拡大に伴い、モニタできる範囲も拡大させていこうと考えています。 | NII | 2024/3/29 |
| 57 | 不確定の部分も、せつかくの場ですので、なるべく情報共有していただけたらと思います。 | ご意見ありがとうございます。 | NII | 2024/3/18 |
| 58 | JAIRO Cloudのユーザーサポート・相互協力用メーリングリストは、これまでのところ不具合・操作方法の問い合わせが中心ですが、要望についても積極的に投稿していいのでしょうか？ | はい、ぜひどしどしお寄せください。ただし、すべてが叶えられるものではありません。提議にあたっては、「要望」でなく、今後のJAIRO Cloudの機能向上についての提案という位置づけをお考え下さい。 | JPCOAR | 2024/3/18 |
| 59 | ストレージの増強のようなことは今後検討されていますでしょうか？ | JAIRO Cloudのストレージ容量変更をご希望の場合は、コミュニティサポートby JPCOAR and NIIから「特別JCサービス」をご申請ください。WEKO3移行後は通年で申請いただけるようになりました。 https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/42 | JPCOAR | 2024/3/18 |
| 60 | コンテンツデータは各大学が個別にクラウドストレージを契約するなどして、容量の増減やクラウドベンダーの選定、場合によってはオンプレストレージの利用等が出来るよう、柔軟性を持たせるべきと思われます。 | 関連： 項番10、項番34をご覧ください。 | NII | 2024/3/18 |
| 61 | JAIRO Cloud利用機関であっても、未提供のサービスについて、開発して間を埋めるパターンもあるかと思いますが。そういったもので良いものがあれば取り入れていただけたらと、有難いです。 | ご意見ありがとうございます。 | NII | 2024/3/29 |
| 62 | （xivとの棲み分けの件、「術術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」の「機関リポジトリ等の情報基盤への掲載が困難な、即時オープンアクセスの対象となる競争的研究費を交付する者（法人を含む。）」はxivをどうぞ、とか文科省で整理してくれればうれしいなあ、と思っています（感想） | ご感想に同感です。2025OA義務化における細則的部分は研究資金助成機関ごとに規定されますが、全体をカバーする原則が存在すると研究者にとってわかりやすいですね。 | JPCOAR | 2024/3/18 |
| 63 | とにかくデータが消えないことが、何よりも最重要事項だと思います。 | ご意見ありがとうございます。データの保全是リポジトリシステムとして非常に重要であると認識しております。引き続き重視してまいります。 | NII | 2024/3/29 |
| 64 | 年度途中で予想外に容量が逼迫することも考えられるので、契約中でも容量の増加に柔軟に対応していただけたらと安心します。 | 関連： 項番59をご覧ください。 | JPCOAR | 2024/3/18 |
| 65 | 現在、機関リポジトリに登録されたメタデータは、IRDB→CINii Researchへハーベストされますが、CINiiへの掲載に最長で1カ月程度を要します。これでは「即時」とは言えませんので、短縮する方法がありましたらご教示ください。 | 現状は、機関リポジトリのIRDBハーベストの際に、以下にご注意いただくのが最善の手段になります。 1) そもそもそのアイテムがCINii Researchに連携される対象かをチェックする https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/harvest/junii2/dataprovide_ciniir 2) IRDBハーベストの対象アイテムがCINii Researchへの連携条件を満たしているかどうかをこまめにチェックする（例えば、レコードエラーによりIRDBに登録されていないかどうか、等） https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/harvest/usercontents | NII | 2024/3/18 |
| 66 | 趣旨説明の資料は配布されますか？ | 短縮する方法がないか、引き続き検討していきます。 | JPCOAR | 2024/3/18 |
| 67 | 公的助成の成果物として対象と考えるのであれば、e-Radやe-CSTI等の助成情報と紐付けしないと、即時OAの実施状況のモニタリングがなかなか難しいように思いますが、開発の予定はありますか？ | 配布いたします。 助成情報との紐付けについては、OAアシスト機能やGakuNin RDM連携の中で検討中の課題となります。 | NII | 2024/3/18 |
| 68 | researchmapとの連携予定はありますか？直接的な連携の意味です。 | 関連： 項番18をご覧ください。 | NII | 2024/3/29 |
| 69 | 情報のご提供誠にありがとうございます。 国レベルでのモニタリング機能は、JAIRO Cloud使用機関のみを想定されていますでしょうか。 | 国レベルでのモニタリング機能は、特に利用者を限定せず、全ての人に提供したいと考えています。なお、機関ダッシュボードについては、CINii Research機関認証（ https://support.nii.ac.jp/ja/cir/inst_auth ）の利用機関にサービスを提供する予定です。JAIRO Cloudを使用しているも、CINii Research機関認証へのご参加がなければ、ご利用いただけませんのでご注意ください。 | NII | 2024/3/29 |
| 70 | 学内既存システム（研究者情報データベース等）との連携を検討しております。GakuNin RDM以外のシステムからのJAIRO Cloudへのデータ連携（バッチ処理やAPI連携等）について、ご検討されていることがありますでしょうか？ | ご意見ありがとうございます。現時点では、具体的な検討はございません。どのような連携が望ましいか、今後ともご意見いただけますと幸いです。 | NII | 2024/3/18 |
| 71 | 研究成果の公平な普及を支援する機能に関しまして、WEKO3になってメタデータ項目が増えたり複雑化したため、一括登録のためのファイル作成に手間がかかるようになりました。記載項目の簡略化や自動入力されるような機能があると助かります。 | 関連： 項番1をご覧ください。 入力負荷の軽減については引き続き検討していきます。 | NII | 2024/3/29 |
| 72 | IRDBを経由せずにDOIをつけられるようにしてほしい。メタデータをつけまちがえたりハーベストに失敗すると、何週間もDOIがつかないため困っています | JaLC正会員になっていただければIRDBを経由せずにDOIを登録できますが、JAIRO Cloud（WEKO3）では正会員としてDOIを登録する機能がありません。JAIRO Cloudのアイテム登録時のバリデーションチェック機能を強化することで、IRDBハーベスト時のエラー発生を削減できなにか検討していきます。 | NII | 2024/3/29 |
| 73 | 研究者にとっての登録インセンティブは、公開している、していないが、今後の研究費獲得への具体的影響の有無しかないのでは？ | オープンアクセスにより、研究成果が広く読まれることは研究者にとって大きなインセンティブになると考えます。 | NII | 2024/3/18 |
| 74 | JAIRO Cloud（WEKO3）について、現状では基本マニュアル以外に資料がほとんどありません。詳細な仕様等の資料があれば、可能な限り公開していただけないでしょうか。 | はい、公開に向けて準備を進めております。 | NII | 2024/3/18 |
| 75 | 機関リポジトリから直接CINii Researchへ反映出来るようにしてほしい | 関連： 項番22をご覧ください。 | NII | 2024/3/29 |
| 76 | 関係ない質問になります。ご存じの方いらっしゃいましたら教えてください。4/1から科研費申請に係る記述について研究支援部門が慌てており、とりいそぎ各研究分野で持っているストレージがあるはずで、そこに保存して、いずれリポジトリにURLを貼りましょう、という話になりつつあります。そういったストレージは存在するのでしょうか？ | 他の参加者の方からfigshareやZenodoの紹介がありました。 | NII | 2024/3/18 |
| 77 | > そういったストレージは存在するのでしょうか？ figshareとか | 情報提供ありがとうございました。 | NII | 2024/3/18 |
| 78 | JAIRO Cloud（WEKO3）のアイテム登録のインタフェースが、もう少し素人にもわかりやすいものになってほしい。リポジトリ管理担当者がシステムに明るいと限らないので・・・ | ご意見ありがとうございます。JPCOARの皆さまと一緒に改善してまいります。マニュアルや研修の整備も合わせて、総合的にサポートしていければと思います。 | NII | 2024/3/29 |
| 79 | > そういったストレージは存在するのでしょうか？→figshareとかzenodoとかでしょうか？ | 情報提供ありがとうございました。 | NII | 2024/3/18 |
| 80 | メーリスではなく、SlidoやSlackのような形で気軽に情報交換出来る場が欲しいです。 | ご意見ありがとうございます。コミュニティの活性化に引き続き取り組んでまいります。JPCOARでは、広報・普及作業部会がこのことについて取り組んでいます。発言者の方、またこのご意見に賛同されるみなさまは、ぜひ部会に加わり、これを実現してくださいませようお願いいたします。 | JPCOAR | 2024/3/18 |
| 81 | 学認RDMとJC以外リポジトリとの連携の実現を2025年にあわせて実現させてほしいです！ | 頑張ります！ 関連： 項番4をご覧ください。 | NII | 2024/3/18 |

| 項番 | 質問 | 回答 | 回答者 | 回答日 |
|----|---|--|--------|-----------|
| 82 | Dspaceを使っている機関でも、Dspaceバージョン7未満は既に公式サポートを終了しているため、保守はかなりシビアになってきていると思われ、そういった機関も含め、受け皿となるような堅牢なシステムが必要です | ご意見ありがとうございます。ご期待に沿えるようなシステムの構築を進めていきたいと思えます。 | NII | 2024/3/29 |
| 83 | われわれだけで考えるのではなく、どのようなシステムなら登録してもよいと思えるのか、研究者にヒアリングした方がよいのでは？ そうしなければ、図書館職員にとって使いやすいシステムになってしまう気がしますが。 | ご意見ありがとうございます。研究者へのヒアリングも検討いたします。 | NII | 2024/3/29 |
| 84 | 閲覧用のインターフェースと登録用のインターフェースを完全分離してほしい | ご意見ありがとうございます。具体的なお要望内容をお聞きできればと思います。 | NII | 2024/3/29 |
| 85 | GRDMからJCへのデータ移行～登録機能の実装はいつ頃になりそうでしょうか？また、その際ですが、GRDMとJCでストレージを共有することは可能でしょうか。GRDM上に置いた研究データはデータサイズが大きい、データ数が多い等でJC上で扱うことが困難となる可能性があるかと考えています。 | 関連：項番16-1をご覧ください。 GakuNin RDMとJAIRO Cloudで同一のストレージを共有することはできません。 GakuNin RDMは完全に非公開の環境で研究データを管理しているためです。JAIRO Cloudへの連携機能で研究データを登録した場合はJAIRO Cloud側のストレージにコピーされる仕組みです。 | NII | 2024/3/18 |
| 86 | OA加速化事業に関連したJAIRO Cloudの開発について2024年度にJPCOARのTFを立ち上げて大学とNIIが密に連携出来るようにしてほしい | ご意見ありがとうございます。JPCOARは、2024年度にJAIRO Cloud作業部会を設置しますので、発言者の方、またこのご意見に賛同されるみなさまは、ぜひ作業部会に加わり、大学とNIIとの連携に取り組んでくださいますようお願いいたします。 | JPCOAR | 2024/3/18 |
| 87 | 研究データを各機関管理のS3等のストレージに置きつつ、シャイロクラウドには研究データを置かずにメタデータ等システム上必要最小限の情報だけを持つ、といった運用は可能になるでしょうか？ | 関連：項番10、項番34をご覧ください。 | NII | 2024/3/18 |
| 88 | WEKO3にはメタデータのみを置き、データそのものは各機関が管理する、といった運用も考えられますが、そういった運用は考慮されているのでしょうか。 | 関連：項番10、項番34をご覧ください。 | NII | 2024/3/18 |
| 89 | JAIRO Cloudで研究者自身がセルフアーカイブを行う際、GakuNin RDMのように、機関側でユーザー管理をする必要が無い仕組みにしたいだけとうれしいです。 | 「GakuNin RDMのように」というのは、学認対応のことと推察いたします。学認対応については検討を進めておりますが、それにより大学図書館によるユーザー管理は必要なくなる想定です。皆さまの機関でのセルフアーカイブの運用イメージとも直結することですので、ご意見をいただきながら設計を進めて参ります。 | NII | 2024/3/18 |